

一般質問



立 鈴
議員

一、農産物ブランド強化対策事業について
二、上志佐小学校の統廃合回避と保育所の安定運営を図るための新婚者専用市営住宅建設について

質問

一、メロン、ブドウなど農産物のブランド化を推進していますが、その選定の根拠及び指定後の恩典について伺いたい。

市内には有望な農産物が多く生産されている。イチゴ、ホオズキ、葉たばこやシキミなどは市場でも高く評価されている。御厨のシキミは、非常に土壌が合っていて光沢がよく、鹿児島、宮崎、静岡の特産地より優れていると高い評価を受けている。市は、ブランド化に向けて、一層支援をすべきだと思うが市長、担当課の考えを伺いたい。

二、上志佐保育所は、17年度に45人の園児がいたが、あと二、三年で20人を下回る人数となる。園児の約4割は校区外からの通園である。保育所運営の面からも早急に対策を講ずる必要がある。一時100人を超えていた上志佐小学校も、30年度には4学年が複式学級となる。田代、大崎、養源の小学校同様、統廃合を迎えることとなる。対策を講じて増員を図って頂きたい。新婚者向け住宅を建設し、園児、児童の増加を図るべきと思うが、市長の考えを伺いたい。

答弁

一、ブランド指定は、栽培面積や栽培戸数が多いこと、販売金額が大きいこと、市場や消費者の認知度が高いこと、そして他の産地との差別化ができることの4点を品目要件とし、総合的に勘案して選定しています。ブランドの維持、拡大に対しては、農家に対応できないことがあれば、それなりの支援をしていきたいと思っています。

まだブランド化に至っていないものに対しては、市場と消費者の信頼が得られるよう、生産面と販売面でのような対策を講じたらよいのか、課題を抽出して生産者やJA等と協議を行い、その実践を通してブランド化確立の取り組みを進めたい。二、少子化の流れは全市的なものでもあり、市としても若い世帯の定住を基本に、有効な施策を打ち出さなければならぬと思っています。農村部の空き家とか民間住宅業者を活用し、自然環境が生かせるそういう地域に、住宅対策を行っていく必要があると考えます。市にとっても今後の大きな課題であると認識しております。

一般質問



富 吉
議員

一、中国大気汚染(PM2.5)松浦市の対策について
二、調川河川の整備改良について

質問

一、(1)中国からの飛来が問題になっている微粒子状物質PM2.5は、本市の市民にも影響があると考えられます。本市としての対応についてお尋ねします。

(2)市内の子どもたちにマスク配布を検討する考えはありませんか。また、環境省の指針では、大気中の濃度が高い日には、子どもや高齢者、疾患を持った人は外出を控え、屋内の換気や窓の開閉を必要最小限にするよう喚起しています。屋内の汚染も考えられます。空気清浄機の購入に対して、補助する考えがないかお聴きします。

二、(1)調川川に関しては、町民有志による河川愛護団体によって環境が守られておりますが、除草作業等を行うにも限界があります。川に堆積土があり、ダンデクが非常に多く茂り景観を悪くしている状態です。堆積土の除去を県にお願いして頂きたい。

(2)河川の管理という観点から、河川管理上の窓口となる市の立場として、今後の対応をお聴きしたい。

答弁

一、(1)市としては、情報収集や監視体制を強化する観点から、測定機の設置を国や県に対して要望していきたい。

(2)今後の飛散状況や他の自治体の対応策を参考にしながら、状況に応じた対策を検討いたします。

二、(1)調川川は2級河川であることから、維持管理は長崎県の県北振興局田平土木事務所が行っております。堆積土の除去に関しては、調川振興会からも要望されておりますので、その趣旨を県に進達しております。

今後地域集約し、県のほうに要望してまいります。

(2)河川の環境整備に関しては、地元の方々の皆さまの御尽力によりまして、すばらしい川として管理頂いております。このことについては、市としてもお礼を申し上げますとともに、地元の方々の御努力に対しては、それにお応えできるような姿勢で対応してまいります。